

英国日本人会 eVisa・NTL Zoom 説明会

日時 : 2024年5月29日(水) 午後8時~9時半
講師 : TFC Legal 英国法弁護士 藤岡 輝行氏
テーマ : 英国のeVisaへの移行・NTLの申請
参加者 : 178名

英国 Home Office は英国の外国籍者の長期滞在ビザを 2025年1月1日以降全面的に Online 管理に移行する予定。その関係で、BRP-Biometric Residence Permit・BRC-Biometric Residence Card を所有している人には、今年の夏頃までに Home Office から eVisa が準備出来次第メールで連絡があり、アカウント登録する必要有り。しかし、BRP・BRC のプラスチックカードを所有せず、古いパスポートに ILR - Indefinite Leave to Remain のスタンプが押印されて居たり、ステッカーが貼り付けられている人は、早急に NTL (No Time Limit) の申請をする必要あり。

その NTL 申請・eVisa への移行の概略は以下の通り。

1) ILR を持っている人で BRP・BRC のプラスチックカードを保持していない人は、早急に NTL を申請して BRP カードを取得する必要有り。そのカードは 2024年12月31日まで有効で、その BRP カードを取得後、eVisa への移行手続きが可能。NTL の申請には、氏名・生年月日・性別・婚姻関係・国籍・住所・出生国・NI No.・ILR の取得日・ILR Ref.・ILR 取得後継続して英国に居住していた事を証明する Council Tax・NI Contribution・Tax Return・銀行口座ステートメント・電気・ガス・水道料金請求書・学校・企業の在籍証明・ILR 取得後のパスポート全て・同意書等をサイトにアップロードし、UKVCAS で予約を取り、顔写真の撮影・指紋の採取・パスポートのスキャンをする必要あり。それらの必要書類は、全て揃っていないと駄目な訳ではなく、出来る限り準備して無い書類は無いとせざるを得ない。日本大使館発行の英国在留証明は英国に継続して居住していた事を証明する書類とは認められないのでは無いか。NTL 申請後、BRP カードが送られて来るまでは 2~3 ヶ月、又は最長 6 ヶ月掛かるかも知れない。

2) 例え 2024年12月31日までに eVisa への移行手続きが済んでいなくとも、ILR の取り消し・国外退去・英国再入国拒否などは有り得ないと思われる。現在は 2025年1月1日以降 eVisa への全面移行が予定されているが、実際には当該の人々の eVisa への移行が予定通り進まず、色々なトラブルを経て 2~3 年の猶予期間が定められるのでは無いか。どちらにしても、古いパスポートに ILR のスタンプの押印・ステッカーが貼り付けられているのがビザとしていつまでも認められると言う事は無く、猶予期間が過ぎれば eVisa への移行は必須。

- 3) 来年以降、eVisa への移行手続きが済んでいない人は、英国行きの飛行機への搭乗が拒否されると言う事は無いのでは無いか。更に、eVisa への移行手続きが済んでいない人が、英国の空港で eGate を利用して通過出来るか否かは不明。
- 4) この NTL の申請・BRP カードの取得・eVisa への移行手続きの費用は無料。UKVCAS のサービスポイントは英国各地に数十カ所あり、自分の都合の良い場所を選んで予約可。UKVCAS での顔写真の撮影・指紋の採取・パスポートのスキャンは、そのサービスポイントの場所・予約の曜日・時間帯によって無料・有料（£140～£240）等色々あり。更に、UKVCAS での通訳（£49）・書類の確認（£49）・スキャン・アップロード（£56）等の有料サービスも有り。
- 5) この NTL 申請・eVisa への移行手続きに関して、TFL Legal 弁護士事務所は手続き代行サービスあり。費用は£250+VAT。連絡先は以下の通り。
- Address : 80, Coleman St., London EC2R 5BJ
Website : <https://tfclegal.co.uk>
Tel : 020 7614 5830
Email : fujioka@tfclegal.co.uk
- 6) 厳密には、BRP の申請中は英国を出国する事は出来ない。しかし、パスポートを Home Office に預ける訳でもなく、BRP 申請中でも海外旅行は可能。
- 7) BRP・BRC カードを所有している人は、今年の夏までに Home Office からメールが届かない場合は 10 月 1 日以降、自分で eVisa への移行手続きが可能になる予定。
- 8) この NTL の申請は、UKVCAS での顔写真の撮影・指紋の採取・パスポートのスキャンと言う手続きが含まれており、従って海外からの申請は不可。
- 9) NTL の申請が無事完了し、BRP カードが送付されると、その BRP 番号で eVisa への移行手続きが可能になり、アカウント登録すると自分の eVisa がスマホ・タブレット・PC 等の端末の画面に表示可能になり、それが本人の eVisa の証明となる。

以上。